

児童朝会 講話 令和4年 3月7日

№31 「ラーメン ①」

おはようございます。

校長先生の声は、みなさんの心に届いていますか？

以前、皆さんの好きな食べ物を聞きました。確か、ハンバーグ、カレー、焼き肉、お寿司などが人気がありますが、ラーメンも人気でした。3月とは言え、まだまだ寒い日が続きますが、こんな寒い日においしいラーメンのお話をしようと思います。

まず、ラーメン知らない人はいないと思うのですが、ラーメンというのはどんな料理でしょうか。もしお隣の人がラーメンを知らないとしたら、どうやって説明しますか？実際に少し説明してみてください。

上手にお話できましたか？ラーメンの説明簡単でしたか？意外と難しかったのではないのでしょうか？というのも、ラーメンと一口でいっても、余りにバリエーション、種類が多すぎて簡単に説明できないからなんです。

そんなときは、まずは歴史から考えてみます。ラーメンはどこの国で発明された料理でしょうか？

そう、中国なんです。ただし、いま皆さんが食べているようなラーメンではなく、もっとあっさりして、具もほとんどなく、麺はうどんのようにやわらかかったそうです。それが江戸時代に日本に入ってきて、はじめて食べた人がはっきりわかっています。そう、水戸光圀という人です。時代劇の水戸黄門の主人公として有名な人です。

実際一般の人に広まったのは明治時代、今から150年ほど前で、札幌、東京などでラーメン屋ができました。安くて、おいしくて、栄養もしっかりとれるので、明治の人にとっても人気があったそうです。

さらに、ラーメン人気を押し上げたのが、あ

のラーメンの発売です。为什么呢？

1958年発売のチキンラーメンです。今から約60年前から売られているインスタントラーメンです。お湯を注ぐだけで食べ物ができると、当時では考えられない大発明でした。大阪の池田市というところで、安藤百福さんという人が、たまたま麺を保存するためにどんな方法があるか悩んでいたときに、奥さんが天ぷらを料理している様子をみて、麺を油で揚げるということを思いついたそうです。

そして、このチキンラーメンはどんどん売れて安藤百福さんは日清食品の社長になりました。そして世界中でもラーメンが人気があるとわかると、安藤さんはチキンラーメンをもってアメリカで売ろうとしましたが、大失敗。アメリカでチキンラーメンは全然売れなかったそうです。なぜでしょう？

しかし、今ではアメリカをはじめ世界中でインスタントラーメンは食べられています。それは、ある工夫を安藤さんがしたからなのです。ヒントは、日本ではほとんどの家にあるものが、アメリカにはなかったからなんです。さて、安藤さんはどんな工夫をしてアメリカでインスタントラーメンを売ったのでしょうか。

みなさんの考えたことを、校長室前のボードにつぶやいてみてください。自信がなくてもいいですよ。みなさんが考えることが大切なんです。

これで校長先生のお話を終わります。最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。